

# 次の世代につなげていくために

「決してあきらめない心」

—小野塚彩那さん、ソチオリン

ピックでは、市民に大きな感動と喜びを与えていただき、ありがとうございました。

この競技を始めてから、3年目での快挙であることを聞くとさらに驚きでいっぱいです。ハーフパイプに挑まれたきっかけを教えてください。

**小野塚 彩那さん** この競技がオリンピックの正式種目に決定した時にアルペン競技から転向し、ハーフパイプでオリンピックに登場すると心に決めました。家族や周りの人に宣言し、素人同然のところから始めました。最初は、教えてくれるコーチもいなく、海外への遠征費用もすべて自費でした。が、どんな時も「絶対にあきらめない」と心に誓い、がむしゃらにバイトと練習に励みました。サポートーズクラブができてからは、充実した練習ができるようになり、結果として、オリンピックやワール

ソチオリンピック フリースタイルスキー  
女子ハーフパイプ 銅メダリスト 小野塚 彩那さん



いと思います。

それとともに、子どもたちにつなげていくこと

が大切だと思っています。スノーボードに比べ、フリースタイルスキー人口は、日本ではまだ少ないのが現実です。そして、欧米に比べ、練習できる環境も整っているとはいえない。子どもたちが「決してあきらめない心」を持つて、今まであきらめなければ必ずかないます。家族や周りの人を巻き込みながら、壁にぶつかったり決してあきらめずにがんばってください。

私もアスリートとして、もっと上を目指し、がんばりますので、これからも応援をお願いします！

ドカップでメダルもどれ、応援していただいたすべての皆さんを含め、本当に感謝しています。

—すでに次のオリンピックに向X-GAMES、2年に一度開催される世界選手権に集中した

小野塚 彩那さん 次のオリンピックのことは、まだ全く考えていません。4年後のオリンピックよりも今年のワールドカップやくりをすることが、私の使命だと思います。

スポーツで、活動されているのですか。